

令和 7 年度 第 1 回恵那市地域公共交通会議 議事録

日 時：令和 7 年 8 月 4 日（月）
13：30～15：30
場 所：恵那市役所 災害対策室

■あいさつ 恵那市副市長：柘植克久

恵那市の公共交通をもっと便利でより良いものとしていくために今回の会でぜひ皆様のお知恵をお借りしたい。
様々な議題があるが、令和 7 年度に向けて路線再編や市民の皆様に乘っていただく方策を検討しているので、よろしくお願いします。

■資料の確認：井手課長

■自己紹介

■議 題

1. 岩村地域の区域運行許可及び運行方法の変更について

■報告

1. 自主運行バス運行事業者の選定結果について
2. 自主運行バス上矢作線及びデマンド交通のバス停名称変更について
3. 明智デマンド交通の目的地の追加について
4. 東濃鉄道明智線減便について
5. 令和 7 年度恵那市自動運転バスに関する取り組みについて
6. 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会事業計画について
7. 岩村デマンド交通の臨時運行について

報告 7 岩村デマンド交通の臨時運行について	
柘植会長	事務局に説明を求める。
事務局	第 1 号議案説明の前に関連の報告 7 を先に説明 概要：岩村地域デマンド交通の臨時運行について、豊タクシーより廃止の申し入れがあったことに伴い、平和コーポレーションによる臨時運行を行う。（10 月 1 日より運行開始を予定しているため。） 豊タクシーについては、乗合事業及び乗用（タクシー事業）も担っていた。今後市として、恵那市の足の確保を図るため、岐阜県タクシー協会等へ要望、連携を図っていく。
協議事項 1 岩村地域の区域運行許可及び運行方法の変更について	
事務局	第 1 号議案説明 概要：岩村デマンド交通について、公募型のプロポーザルにより 10 月からの運行について、平和コーポレーション様に運行委託することが決定した。 事業者より利用者の拡大、利便性の向上を図るため、岩村デマンド交通の

	運行の方法を変更する提案があった。 内容としては、目的地を廃止し、バス停からバス停への移動を可能にする運行。
大島委員	プロポーザルは何社が参加されたか。 また、地図についてバス停の色が違う枠で囲まれているのに意味はあるのか。
事務局	プロポーザルについて、後程報告事項 1 で説明させていただくが、各地域 1 社であった。また地図については、現在のチラシを使っている関係上地図の枠の色に違いが出ている。新しいチラシを作成中であり、今後地域へも配布を行う。
木村委員	運行方法の変更により、便数は減ると思うが、その利用動向の見込みがあれば教えてほしい。
事務局	現在豊タクシー様に運行している実績から、よく使われる 2 便、3 便の時間帯を、しっかりと補完できる運行にしている。また今後地域、事業者と連携し、地域のニーズにあった運行方法としていく。
山田委員	現在の実績でいくと、平日全稼働して、そのうち 5 % 以下がここ数年続いている状態。つまり 3 日 1 回ぐらい動く状況であった。今後当社が運行を担う際に、なにがいいか検討したときに、現在のやり方では、不便なことが多い。 他の地域のデマンド交通を担っているが、やっぱり利用は、病院、買い物、銀行へ行く利用が大半。今の運行だと、午前中にやること、つまり病院などに行って、午後買い物へ行くルートがない状態。それを補完できる運行時間また、運行の方法にした。
柘植会長	意見はあるか。
一同	(特に無し)
一同	異議無し。
報告 1 自主運行バス運行事業者の選定結果について	
事務局	報告事項 1 説明 概要：自主運行バス 5 地区について運行委託の契約期間満了に伴う公募型プロポーザルを実施し、事業者が決定したため、報告するもの。
木村委員	8 月 21 日からの運行は、現在の運行方法で行うという認識でよいのか。 また、岩村については、運行方法が変わり便利になると思われるので、周知をしっかりとしていただきたい。
事務局	認識のとおりである。 また、周知について、恵那市の広報誌の同時回覧であったり、市の HP、交通コンシェルジュ等で周知を図っていく。また乗り方教室等も開催し、利用促進を図っていく。
報告 2 自主運行バス上矢作線及びデマンド交通のバス停名称変更について	
事務局	報告事項 2 説明 概要：同じ地点に定時定路線とデマンド交通の兼用のバス停があるが、バス停ごとで、名称が異なるため、整理をおこなうもの。また、10 月より開館となる

	佐藤一斎學びのひろばの前にあるバス停について、わかりやすいバス停と するため、名称の変更を行う。
報告 3 明智デマンド交通の目的地の追加について	
事務局	報告事項 3 説明 概要：、現在目的として登録があるが、目的間の利用ができない。今回ふれあい 会館前をバス停として位置づけを行い、整理をするもの。これにより、バ ス停からふれあい会館前バス停への移動が可能となる。
報告 4 東濃鉄道明智線減便について	
事務局	報告事項 4 説明 概要：東濃鉄道明智線について、人材不足といった担い手不足が課題となってい る。また、現在バスの利用者の減少に伴い、減便を行うもの。 東濃鉄道明智線は、学生であったり、瑞浪へ行く方が利用するための大切 な路線である。今後、事業者と関係市で連携し利用促進を図っていく。
永井委員	補足をさせていただく。先ほど事務局からも人材不足という話がありましたが、 現在明智線については、1 日 3, 4 名で回している状況。今回の減便をさせてい ただくと 2 名で運行できるようになる。今後も関係各所と連携し、持続可能かつ利 便性の高い公共交通を目指していく。
木村委員	事務局及び東濃鉄道からもあった通り、乗務員不足は、県内バス事業者すべて で、課題である。現在様々な手法を用いて乗務員の確保を務めているが、事業者 だけでは難しい部分も多い。 色々なツール、例えばバスマップ・時刻表にバス会社の求人をつけてもらう。 こういったものは、色々な方の手に届くものであるため、ぜひ協力いただきたい。
事務局	検討を行い、さまざまなところ連携協力を図っていく。
報告 5 令和 7 年度 恵那市の自動運転バスに関する取り組みについて	
事務局	人口減少や運転手不足、高齢者の運転免許証返納などを背景に移動手段が課題に なっている中で、恵那市を含めた東濃地域と下呂市で自動運転の実証実験 n を行 う。こちらについては、国交省の補助金を活用するもの。 上記市町村でコンソーシアムを作り、連携し、自動運転に向けた取り組みを行 う。今年度の運行は、岩村を予定している。
報告 6 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会事業計画について	
事務局	明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会について、事業計画を報告するもの。